

南三陸アクティブラーニングプログラム案 「海洋ゴミ問題解決を探求する」

テーマ： 海洋ゴミ問題は今この瞬間から対処していかないと解決できない問題であり、その根本的な解決には大きな社会構造の変革(パラダイムシフト)が求められると考えられます。この変革の方向をプログラム参加者と探っていきます。

地域性： 南三陸町は町の目指す方向として”森里海ひと、いのちめぐるまち”を掲げ、また町の面する志津川湾がラムサール条約登録湿地となり保全活用計画が策定されるなど、自然環境と共生するまちづくりをおこなっています。この地において、海におこる環境問題を直視してその解決を探る機会を作ることは、実感値を伴った学習となるとともに、まちづくりに寄与することが期待できます。

【プログラム内容詳細】

	時間配分	内容	備考
セッション 1	10分	砂浜の研究者になろう	事前出張学習可 写真 ビーチバケツ (タッパー) を利用
	15分	砂浜にあるゴミを調べよう	
	5分	砂浜は本当にきれいになったのか？	
セッション 2	5分	マイクロプラスチックってなんだ？	
	10分	マイクロプラスチックは 何が問題なのか	
セッション 3	30分～	ビーチクリーン活動	ゴム手袋 汚れてもいい服と靴
セッション 4	30分程度	私たちにできることはあるか① 即実践行動づくりワークショップ	
セッション 5	30分～	私たちにできることはあるか② 問題解決の施策づくりワークショップ …社会施策に反映するまでのプロセスも考える	

※ セッション 3 は、実際に海岸での活動を行います。セッション 1 と 2 で模擬的なクリーン活動を室内で行いますが、現地に行くことでより理解を深める事が出来ます。

※ 事前事後学習として以下「マイクロプラスチックストーリー」をご活用下さい。

<https://www.microplasticstory.org/>

(海研吹き替え版制作協力)の観賞も組み合わせ可能-公立学校\$100(USD)私立学校\$200(USD)

- 所要時間： 90 分～150 分程度

- 定員：10名～40名程度
- 料金：1名 3,300円(税込)
- 開催場所：南三陸・海のビジターセンター
- 開催期間：通年
- SDGs：3、11、12、13、14に該当

このプログラムは特定非営利活動法人海の自然史研究所が開発したプログラム「プラスチック・プラスチック」をベースに地域性をアレンジして構成しています。